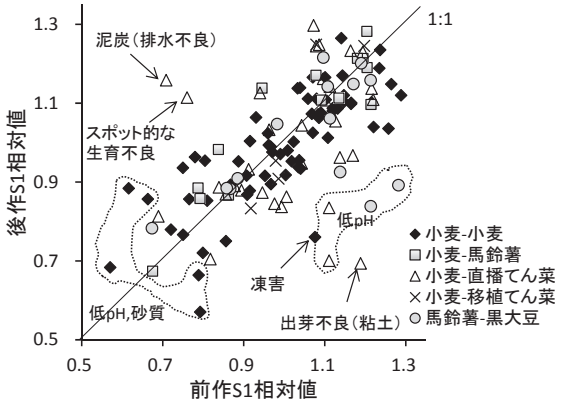


図１　圃場内生育相対値の年次間差

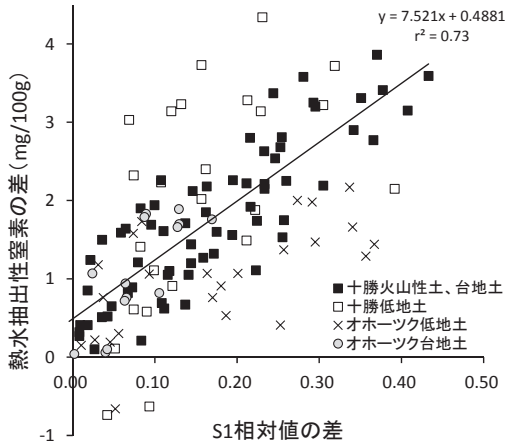


図２　圃場内の生育差と熱水抽出性窒素の差の関係

表１　開発した施肥マップ作成ソフトウェアとマップ施肥実行端末の概要

施肥マップ作成ソフトウェア	対応OS	Windows7、8、8.1、10（タブレットも対応）
	読込可能ファイル	CropSpecデータ、CSV、SHP
	出力形式	ISOXML
	主な機能	生育データの読込、圃場の登録、生育マップ・高度マップの表示、施肥マップの作成、施肥マップデータの出力
可変施肥実行端末	端末	X25（8.4インチディスプレイ）
	インターフェース	CAN、USB2.0、シリアル通信、レーダー出力
	主な機能	GNSSによるトラクタガイダンス・自動操舵、CropSpec可変追肥、マップベース可変施肥、ISOBUS対応

表２　てんさい、でん粉原料用ばれいしょに対する可変施肥効果

	年次	圃場	可変施肥実施時期	総窒素施肥量（kg/10a）			糖量,でん粉収量（kg/10a）		
				可変	定量	可/定	可変	定量	可/定
てんさい（直播）	2014	1	基肥	16.5(13.8-18.2)	17.5	94	787	710	111
		2	基肥	17.8(14.8-20.1)	17.5	102	755	710	106
		3	基肥	17.3(15.1-20.8)	17.5	99	740	753	98
		4	追肥	13.3(11.4-14.8)	13.3	100	889	860	103
	2015	5	分施、追肥	12.8(11.0-16.3)	13.1	98	1243	1171	106
	2016	6	基肥	15.9(13.6-19.3)	16.0	100	921	843	109
		7	分施	14.1(12.0-17.5)	14.3	98	849	793	107
	平均			15.4	15.6	99	883	834	**105.9**
でん粉原料用ばれいしょ	2015	A	追肥	19.5(18.4-23.2)	21.4	91	843	804	105
	2016	B	追肥	23.2(20.7-25.7)	24.7	94	786	774	102
	平均			21.3	23.1	92	814	789	**103.2**

注）総窒素施肥量の可変の欄は区平均（最小-最大）。
注）可変区における窒素施肥量の増減はデフォルト値（生育差10%につき、てんさい1.5kg/10a、でん粉原料用ばれいしょ2.0kg/10a）とした。

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。
道総研十勝農業試験場
電話（0155）62－2431　E-mail：tokachi-agri@hro.or.jp